

# 人とモノが自在に繋がる 未来を目指して

～IoT社会を支える情報ネットワークアーキテクチャ～

## IoT社会の到来とインターネットの限界

インターネットは今や社会の隅々まで浸透し、私たちはスマートフォンやPCを使って、いつでも好きな場所で友達とコミュニケーションしたり、調べものをしたりできるようになりました。さらに今後は、環境に埋め込まれたスマートスピーカーやセンサ、あるいは人々の生活を支援するロボットなど、様々な“モノ”がインターネットに繋がる社会、すなわち、IoT(モノのインターネット)社会が到来すると予想されています。しかしながらインターネットは、1960年代にその原型が誕生して以来、論理的な構造(アーキテクチャ)をほとんど変えないまま高速・大規模化しており、桁違いに多くのデバイスが接続する将来のIoT社会では、アーキテクチャ的な限界を迎えることが危惧されています。



## 将来の情報ネットワークアーキテクチャ

当研究室では、そのような問題を打ち破る新しい情報ネットワークアーキテクチャの実現を目指し、高性能・高可用情報ネットワーク、仮想化ネットワーク/システム設計・制御技術、IoT/モバイルネットワークデザイン、次世代ユビキタスサービス基盤等の研究開発に、理論と実践の両面から取り組んでいます。